



## 学力向上を図るための調査結果（5年）のお知らせ

先週開催した平成28年度学芸会には多くの来賓・保護者・地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。二日間とも子供たちの健康状況により配役の調整などがありました。子供たちがお互いに支え合い、素晴らしい劇を創り上げたのではないかと思います。述べ783名の皆様に本校児童の練習の姿をご覧いただいたことを嬉しく思っております。学芸会練習をとおして、培った成果を今度の指導に生かせるようにしてまいります。

また、本日は土曜授業（学校公開）および情報モラル講習会へのご参会もありがとうございました。今月は学校関係者評価の保護者アンケートの締切も近付いているため、土曜授業アンケートは実施いたしません。ご了承ください。

さて、本日は5年生の「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果についてお知らせいたします。

### 5年生 東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果（7月7日実施）

こちらの調査に関しては、調査報告書が11月に届いたばかりです。本日は、授業改善を図るべきポイントのみお知らせいたします。

#### (1) 教科の内容

	関心・意欲・態度		思考・判断・表現 (国語：聞く・話す)		技能 (国語：書く)		知識・理解 (国語：言語)		(国語：読む)	
	南田中小	東京都	南田中小	東京都	南田中小	東京都	南田中小	東京都	南田中小	東京都
国語	87.7	90.6	88.7	82.3	44.6	54.0	78.2	78.0	80.0	72.9
社会	94.6	91.3	60.9	58.2	81.8	81.0	79.4	69.9		
算数	83.1	82.6	52.7	54.8	70.1	64.9	74.0	72.6		
理科	96.9	94.8	80.0	74.2	46.2	48.4	60.2	56.4		

各教科の評価の観点別に状況を確認しました。

**国語では**、「聞く・話す能力」「言語に関する知識・理解」「読む能力」は、都平均を上回っています。「関心・意欲・態度」「書く能力」は都平均を下回っています。3年生までの漢字を正しく書く問題（知識・理解・技能）、書きたいことが正しく伝わるように書けているかを確かめる問題（書く能力）では正答率が60%を下回っており、課題と捉えています。

このことから、文章を書く際に、次の点を意識させていく必要があると考えています。

○似ているところや違うところなどを整理する段階を設ける。

○思ったことや考えたことを書き加えるようにする。

書き終わった際には、主語に応じて、述語を正しく書き直すこと、誤字脱字等を直すことはもちろんですが、よりよい表現にするにはどうすべきかを考え推敲していくことにも力を入れていきます。

#### ○相手や目的に応じて書きたいことが伝わるように書く指導の充実を図る。

自分の主張に説得力をもたせるため、根拠となる必要な語句や文を引用したり要約したりする学習を充実させていきます。学んだ様々な表現の仕方を思い出しながら書けるよう指導を工夫してまいります。

**社会では**、全ての観点で都平均を上回りました。設問別に確認すると、「消防士の働きを捉える問題（社会的な思考・判断・表現）」、「道具の移り変わり」と、それに伴った暮らしの変化の様子の特徴を捉える問

題（社会的な思考・判断・表現）」が正答率60%を下回り、課題となりました。

**○見学などで調べてきたことを整理し、手段と目的や、原因と結果などの関係から考えさせる。**

分かったことを整理分析し、それらを比較し関連付けたりすることで社会的事象の特色や相互の関連、社会的事象の意味を捉えられるように努めてまいります。ご家庭でも、原因と結果、目的と手段などの関係を考えさせるきっかけを作っていただければ幸いです。

**○社会的な事象の意味（特色と相互の関連）について、児童の言葉で表現させる。**

時代が急速に変化する中で、私たちの使用する道具は格段に進化しています。こうした道具の変化や移り変わりは、子供たちにとっては興味・関心、そして驚きを与えるものだと考えます。ご家庭でもご家族の子供の頃の様子についてぜひお話いただけると幸いです。

暮らしの変化により、必要な資源も変わることで、様々な環境の変化に伴った問題も生じていることも学べるようにしていきます。

**算数では**、「思考・判断・表現」のみ都平均を下回りました。帯分数の計算（技能）、数の相対的な見方（100を単位）を測る問題（知識・理解）、がい数を使った見積りの方の問題（知識・理解）、対角線の特徴から四角形の弁別に関する問題（数学的な考え方）、直方体の展開図を捉える問題（数学的な考え方）に課題が見られました。

**○4桁ごとの位の表を使い、数の仕組みを理解する指導の充実**

十進位取り記数法の理解を深め、位や数の仕組みに対する理解を深めてまいります。

**○場面に応じて、がい数を用いる指導の充実**

四捨五入や切り上げ切り下げ・切り上げは、代金等がある金額で足りるか、切り下げは代金がある金額を超えているかを知りたい場合に使います。ご家庭でも、こうした場面で、そうする理由を尋ねるなどしていただければ幸いです。

**○いろいろな四角形を定義し、その性質を調べる指導の充実**

台形、平行四辺形の定義と性質を再確認してまいります。図形の特徴を押さえて考えることは、6年生の学力調査でも課題の一つとなっています。

**○箱の辺を切り開いたり、展開図を組み立てたりする指導の充実**

見取り図と展開図の考え方は、何かを創作するうえで非常に役立つ学習です。見比べたり、イメージしたりする。そして創作した際には最初のイメージとの比較をすることを今後も大切にして指導を重ねます。実際の箱を切って開いたり、具体物を用いたりする活動をとおして、どこの辺や頂点が合わさるかをイメージさせられるよう指導を工夫してまいります。図の見る視点を転換させ、展開図の見方が豊かになるよう努めます。

**理科では**、「技能」のみ都平均を下回りました。昆虫の育ち方の順序（知識・理解）、電気を通す物質（知識・理解）、電気回路の名称（知識・理解）、太陽の動き方（知識・理解）、太陽の動きとかげの動きの関係付け（思考・表現）、温度計の使い方（技能）、記録した温度の読み取り（技能）、星座早見盤の使い方（技能）に関して課題があると捉えています。

**○複数の種類の昆虫等を比較して観察し、生物の多様性と共通点の視点から昆虫の体のつくりや育ち方をとらえさせる指導の充実**

体のつくり共通点や差異点があることを意識させてまいります。全ての昆虫の頭には、目や触覚、口があること、胸には3対6本の足があること、腹はいくつかの節からできていることなど、昆虫の体のつくりの特徴を捉えられるように授業改善に努めます。また、生命尊重の観点から全ての生き物には命があることを観察活動等によって、実感できるようにもしていきます。

日常生活の中で行える観察や実験を行い、その結果を表やグラフにまとめ、考察させることを重視してまいります。

### ○科学的な言葉や概念を適切に使用して、予想したり考察したりさせる指導の充実

「数を増やしたら、こうなるのではないか。」「比較すると、こうしたことが異なっているのではないか。」などと、予想させることが大切だと考えています。その際に、理科で用いる言葉、例えば、直列つなぎや並列つなぎなどの言葉などを必ず使わせるよう意識させていきます。

### ○観察、実験の結果を、表やグラフに整理して分析的に読み取らせる指導の充実

太陽と地面の様子、日陰の変化と太陽の動きを関連付けたり、日なたと日陰の地面の様子を比較したりするなど日常生活の中で行える観察や実験を行い、その結果を表やグラフにまとめ、考察させることを重視してまいります。

### ○観察、実験器具の技能を確実に習得するために繰り返し操作をさせる指導の充実

理科には、器具を使わないと学べない学習が多くあります。観察や実験を確実にを行うためには、その器具の扱い方が重要です。例えば、太陽や月の観測の例を考えると、測定に適した場所、適切な高さ、測定値の読み取り方を児童が学べるよう指導を充実させてまいります。

## (2) 読み解く力に関する内容

	取り出す力		読み取る力		解決する力	
	南田中小	東京都	南田中小	東京都	南田中小	東京都
国語	93.8	78.2	76.9	74.1	26.2	33.1
社会	83.1	80.0	68.5	52.4	75.4	69.7
算数	77.7	70.6	22.3	25.0	37.7	33.3
理科	72.3	66.1	68.5	60.5	53.8	51.1

**国語**の「解決する力」と、**算数**の「読み取る力」、を除いて、都の平均値を上回っています。

**国語では**、「2つの資料における筆者の考えを理解・解釈して、目的に応じてまとめた文書を考える問題（意図や背景、理由を理解・解釈・

推論し

て解決する力）」に課題がみられました。

**社会は**、概ね良好な結果でした。国語等で課題となっている資料から情報を比較・関連付けて読み取る力、意図や背景、利用を解釈するなどして解決する力を引き続き伸ばしてまいります。

**算数では**、「3つの関連する時間を関連付けながら表にまとめ、それらの関係について読み取る問題（比較・関連付けて読み取る力）」、「3つの時間の関係について読み取ったことをもとに解決する問題（意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力）」、「3つの枚数の関係を□を使った式でまとめることができるかを測る問題（比較・関連付けて読み取る力）」、「3つの枚数の関係について読み取りから、3人のシールの枚数を求める問題（意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力）」に課題がみられました。

**理科では**、「金属の種類と長さの変化の違いや適切な条件に関する問題（意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力）」、「実験結果の読み取り（必要な情報を正確に取り出す力）」、「実験結果の予想・比較・関連付け（比較・関連付けて読み取る力）」、「種子の発芽の条件（意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力）」に課題があると捉えています。

**国語では**、学習のゴールとして言語能力の高まりを目指す「目的」、活動のゴールとして内容理解を高めるための「手だて」を明確にしながら、指導を充実させてまいります。特に、次の指導の充実に努めます。

### ○目的や意図をもって複数の資料を読み、内容を関連付けながら筆者の思いを理解・解釈した上で自分の目的に合うようにまとめ直す指導を図る。

ある目的や意図をもって複数の資料を読むことで、筆者の考えを深く理解することができます。そして、自分の考えも広げることができます。

**社会では**、地図記号や地名、その位置を身に付けるため、積極的な地図帳を活用すること、複数の資料を比較・関連付け・総合して考え、根拠に基づいて説明できる力をより一層伸ばしてまいります。

**算数では、**図形領域や数量関係に関する指導を充実させてまいります。そのためにも、児童の実態に応じる習熟度別指導や少人数指導を推進していくことを指導の重点としていきます。

**○順序よく表に整理したり、表からきまりを見付けたりする指導の充実**

算数・数学の楽しさを感じられる学習の一つだと考えます。また数量の関係を□を用いて式に表すこと、□に当てはまる数を求めることなど算数の有用性を実感することができ、日常生活にも生かされるものと考えます。

**○解決の手だてを検討し、解決の段階を分けて支援する指導の充実**

解決のための最終的な思考の仕方を体験させていきます。その思考に至るための手段を考え、その手段で必要になる情報を資料から取り出せるようにします。

**理科では、**次の2つの指導を充実してまいります。

**○必要な情報を正確に取り出し、比較・関連付けを行い全体の傾向等を読み取る指導の充実**

表やグラフのどこに着目させるのかを定める指導が必要です。例えば、変化や傾き等が大きかったり、小さかったりする部分に着目させます。その中で、必要な情報を取り出し比較・関連付けながら共通性や全体の傾向を読み取れるようにします。こうした指導をとおして、この表やグラフが伝えたいことは何かを意識させてまいります。

**○観察・実験の結果を問題や予想に照らし合わせて考察させる指導の充実**

条件の違いに着目させ、自らの予想や仮説を立て、実験計画を立てさせます。他者の考えと共有化を図ったり、自分の考えをより妥当なものにしていったりすることが重要です。自らの設定した問題や予想・仮説に照らし合わせ、自分は何のために観察、実験を行ったか、実験の結果から何が言えるかについて考える場を設定し、自分の考えをより妥当なものとしていきます。仮説を立て、必要な情報を取捨選択しながら判断し、その結果を適切にまとめ・分析しながら、読み取るという問題解決的な学習の仕方を定着させ、科学的な思考力の向上に努めていきます。

**(3) 児童質問紙**

本調査にて「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合(%)に着目し、本校と都の平均値を比較してみました。

本校児童の良い点については、90%以上の回答または都平均値を5%以上上回っている質問から抽出しました。課題・改善点については、50%以下の回答または都平均値を下回っている質問から抽出しています。

**①生活習慣等について**

良い点	南田中小	都		南田中小	課題・改善点
朝食を食べている	97.0%	96.6%	70.6%	67.8%	家の人と学校や社会での出来事を話す
将来、社会や人のために役立つ仕事がしたい	80.0%	79.6%	88.2%	80.0%	自分の将来に希望をもつ
地域や社会をよくしたい	92.3%	90.0%	72.1%	67.7%	たとえ小さなことでも、地域や社会をよくするために何かしたことがある
自分のことを大切な存在だと感じている	78.4%	76.9%	95.8%	95.4%	学校のきまりを守ることは大切
自分の国のよいところを外国の人に伝えたい	87.7%	81.5%	89.6%	58.5%	学校のきまりを守っている
			67.9%	60.0%	最後までやり抜く・根気強い

## ②授業や教科に関すること

都の「分かる理由」の上位項目	都	南田中小	本校の「分かる理由」の上位項目
国語の授業内容が分かる。	90.0%	<b>93.9%</b>	
①出された宿題をきちんとやっているから。 47.5%			①先生の教え方が丁寧だから。67.2%
②お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから。 45.2%			②自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから。 52.5%
③読書が好きだから。 43.3%			互いの意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから。 52.5%
社会の授業内容が分かる。	85.5%	<b>90.8%</b>	
①先生の教え方が丁寧だから。 42.8%			①先生の教え方が丁寧だから。 61.8%
②世の中のできごとを知ることが好きだから。 42.1%			②自分で考え、考えたことを発表する授業がある。 57.6%
③お互いの意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから。 39.8%			③お互いの意見から出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから。 42.4%
			出された宿題をきちんとやっているから。 42.4%
算数の授業内容が分かる。	90.6%	<b>92.3%</b>	
①コースに分かれた少人数の学習があるから。 67.6%			①コースに分かれた少人数の学習があるから。 85.0%
②いろいろな解き方があるから。 60.2%			②自分で考え、考えを発表する授業が多いから。 55.0%
③自分で考え、考えを発表する授業が多いから。 47.2%			出された宿題をきちんとやっているから。 55.0%
④出された宿題をきちんとやっているから。 45.7%			③先生の教え方が丁寧だから。 51.7%
算数の内容の理解に自信がある。	83.6%	<b>87.8%</b>	
学力に応じたコース別授業はよいと思う。	94.1%	<b>93.9%</b>	
コース別授業は学力がつくようになる。	91.5%	<b>96.9%</b>	
理科の授業内容が分かる。	91.9%	<b>93.9%</b>	
①観察したり、実験したりする授業が多いから。 73.3%			①観察したり、実験したりする授業が多いから。 80.3%
②自分で予想し、それを確かめる授業が多いから。 62.9%			②自分で予想し、それを確かめる授業が多いから。 75.4%
③先生の教え方が丁寧だから。 43.0%			③先生の教え方が丁寧だから。 60.7%
理科でもっと観察や実験がしたい。	95.2%	<b>93.8%</b>	
理科の学習内容は生活の中で役立つ。	88.7%	<b>89.3%</b>	
将来、理科や科学技術に関する仕事に就きたい。	43.3%	<b>41.6%</b>	

## ③学習活動について

授業では自分の考えを発表する機会がある。(都：86.0%，南田中小 <b>92.4%</b> )
授業では学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている。(都：85.8%，南田中小 <b>92.3%</b> )
授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されている。(都：89.9%，南田中小 <b>96.9%</b> )
授業の最後に振り返りの活動がある。(都：81.2%，南田中 <b>84.6%</b> )